

やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい

# かがやく山内西の子

山内西小 HP: <http://cms.saga-ed.jp/hp/yamauchinishi-e/>

武雄市立山内西小学校  
学校だより No. 29  
令和元年 10 月 10 日発行  
文責：校長 石橋佳樹

※「学校だより」はホームページからご覧いただけます。鮮明な画像でご覧ください。

## ★ 1学期終了。やる気・笑顔・元気の輝く186日間でした。

4月8日(月)〔1年生は10日(水)〕から数えて186日間。〔1年生は184日間〕(土・日・祝日等の休日を含む)長いようであつという間でした。

山西っ子は、『トライ & エラー & チア を つみかさね』てきました。



くきっと、みんなにこんな瞬間があつたはず。小説っぽくまとめてみました。>

この1学期間、挑戦して、たくさんの成功があつた。そのときは、めちゃくちゃうれしかった。でも、振り返ると失敗して悩んだことの方が多かった。そんな時、友だちや先生、まわりの人から声をかけてもらい勇気が出た。そのお陰で、もう一度考えてみよう。もう一度だけ試してみよう。という、前向きな気持ちになれたことをはっきり覚えている。そして、何度も何度も考え直して、何度も何度も繰り返して、ついにできた時の、あのうれしさ。苦しんだ時ほど、やり遂げた時の喜びは格別だった。あきらめないでよかった。同時に、またこんな喜びを味わいたいと、つくづく思った。

みんなに、そんな勇気をもらえたから、友だちが悩んだり落ち込んでいたりしていたら、今度は自分の番だ!と思えた。とびっきりの笑顔で、そばに行って励ました。何度も声をかけたり一緒に考えたりして、精一杯応援した。

「だいじょうぶ。」「どんまい」「きっとできるよ。あせらずいこう。」「すごいよ。」「OK!」「いいじゃん。」

なあ〜んで、たくさんの言葉をかけた。かけてもらった。いつも一人ではなかった。誰かがそばにいて自分を支えてくれた。だから今もここにいられる。

そしてついに、ついに友だちが一つのことをやり遂げた。喜んでいる姿を見たら、自分も飛び上がりたくなるほどうれしくて…。人のためにそんなことできる自分が、役に立てる自分が、なんだか誇らしく思えた。

そんな186日を過ごしてきた。毎日の小さな小さな、紙切れ一枚の繰り返し。気が付いたら、4月の頃の自分と比べて、驚くほど変わっていた自分に気づいた。

1学期間の、ご家庭での後押し、ありがとうございました。

本日、お子様に手渡した「通知表」は、担任や教科担当が誠心誠意、心を込めて書かせていただいた保護者様へのお礼の手紙でもあります。どうか、お子さんと一緒に手にとって、これまでの成長を一緒に喜び、今後の具体的な目標を持つための参考となれば幸いです。

明日は、武雄市キッズウィーク、そして祝日を含め計4日間の休日となります。短い期間ですが、ご家族での思い出づくりと2学期に向けての準備等よろしくお願いします。

